

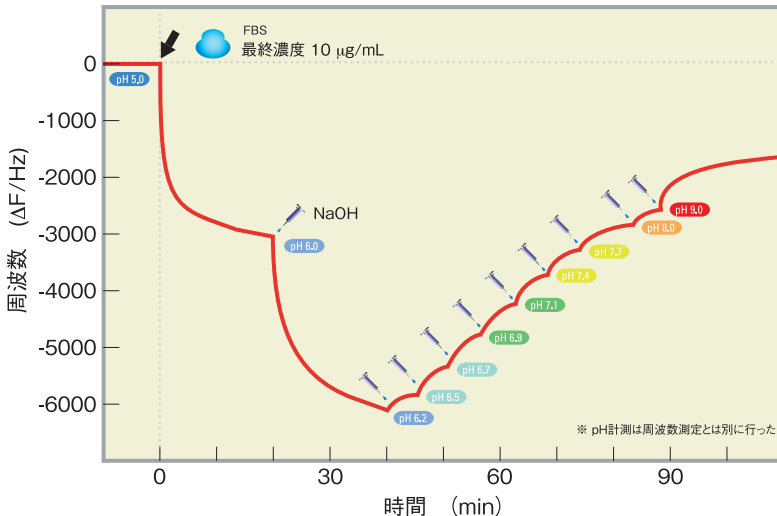
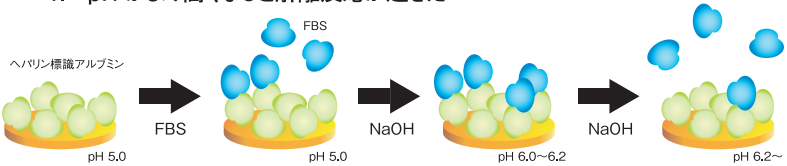
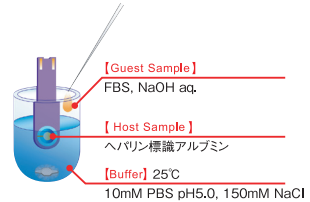
反応やカラムの最適pH条件の検討

材料

1. ヘパリン標識アルブミン (SIGMA社製 H-4016)
2. ウシ胎児血清 (FBS) (GIBCO社製 10082-147)
3. 1 M NaOH aq.
4. pHメーター

結果

1. pH 5.0でFBSは結合した
2. pH を高くするとFBS結合量は増加した
3. pH 6.0~6.2付近が最大結合量となる最適条件
4. pH がより高くなると解離反応が起きた



応用

1. 目的の酵素反応に適した溶媒系の最適化 (pH, 塩濃度など)
2. 相互作用における結合・解離の最適条件の検討
3. ヘパリンカラムや各種カラムの精製条件の検討 (結合サンプルのみを剥がす溶液の検討)